

図10

食物アレルギーの診断

問診

アレルギーの症状
既往歴(今までの病気)
家族のアレルギー症状の有無



食事日誌

食物とアレルギー症状との関係を日誌に記された食物の種類、食べた時間などから調べる。



検査

血液検査(血清IgE抗体等)
皮膚テスト



食物除去試験

- ①問診や食事日誌からアレルゲンとなっている食物を推定します。
- ②推定した食品を食事のメニューから外すことで症状が改善されるかどうかをみます。
- ③症状が改善したときには、その食物が原因である可能性が大きいとわかります。

食物負荷試験

- ①アレルギーの症状が改善している状態(1~2週間)で原因と思われる食品をもう一度食べてみます。
- ②症状が出たときには、アレルゲンの食品であることがわかります。

確定診断

